

博物館だより



No.111

平成28年2月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
TEL 0930-33-4666
FAX 0930-33-4667

2・3月の催し物ガイド

その① 第10回三重塔まつり

春恒例のみやこ町三重塔まつり。今年も以下の内容で行われます。皆さんお気軽にご来場ください！

■日時 2月28日(日)
10時～15時

■場所 豊前国分寺跡公園
(みやこ町国分)

■内容 少年少女俳句大会表彰式・一般俳句大会・祓郷太鼓・護摩焚き・野点・各種出店

その② 歴史文化カレッジ

福岡県指定文化財
「筑前博多独楽」公演

みやこ町歴史文化カレッジの第5回講座は、「伝統芸能鑑賞会」として福岡県指定無形文化財「筑前博多独楽」をご覧いただきます。観覧無料ですが、事前申込が必要です。皆さんお気軽にご来場下さい。

■日時 3月6日(日)

13時30分～(60分程度)
■場所 みやこ町中央公民館

■内容 日本の曲独楽のルーツとされる筑前博多独楽伝統の技をご披露いただきます

■申込み 当館まで電話でお申し込みください。

歴史学習DVD

みやこの歴史発見伝！

みやこの先人

字幕入り版完成！

現在のみやこ町出身で、後世に名をのこした先人を顕彰するDVD「みやこの歴史発見伝！みやこの先人」の字幕入り版が完成しました。

ナビゲーター役の女性が先人ゆかりの土地や人を訪ねながら、その人生と業績を紹介する内容で、10名の先人を取りあげて、1名につき1本、計10本の映像ソフトにまとめています。先人を切り口にわが町を見ると、驚くような発見がいくつかあります。平成22年度に作成したものを、より見やすくするため、今回、全ての映像ソフトに字幕をつけました。ぜひ「みやこの先人」をお手元に！



みやこの歴史発見伝！

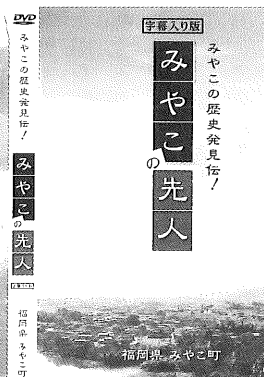
みやこの先人

字幕入り版

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 岩垂 邦彦 | 6. 中村 春堂 |
| 2. 小宮 豊隆 | 7. 茶山 嘉樹 |
| 3. 堺 利彦 | 8. 吉田 学軒 |
| 4. 下枝 薫村 | 9. 吉田 健作 |
| 5. 鶴田 知也 | 10. 吉原 古城 |

福岡県 みやこ町

「みやこの先人」ジャケット



DVD収録の先人10名

- 岩垂邦彦(NEC創業者)
- 小宮豊隆(独文学者・漱石門下)
- 堺利彦(日本社会主義運動の父)
- 下枝薫村(異才の書家)
- 鶴田知也(芥川賞作家)
- 中村春堂(かな書道の名手)
- 葉山嘉樹(プロレタリア作家)
- 吉田学軒(元号「昭和」創案者)
- 吉田健作(近代製麻業の父)
- 吉原古城(書家・漢学者)

■販売価格 1枚1000円
■販売場所 当館カウンター

1月の業務日誌から

1月14日(木)、上高屋小学校の全校児童11名が見学に訪れました。「京築こどもディレクター」として、ふるさと情報発信の取材をかねた見学とのことで、皆さん熱心に見学されていました。

1月17日(日)、博物館展示室で新常設展示の説明会「ギャラリートーク」が行われました。リニューアルに伴い内容を一新した常設展示について学芸員が解説するもので、多くの方の参加をいただきました。



▲地元の霊山・蔵持山のコーナーは特に熱心に見学



▲参加者は新展示に興味深く見学されていました

三ツ塚古墳群

— 新発見！首長墓級の古墳と旧石器 —

三ツ塚古墳群の発掘調査

みやこ町教育委員会は、昨年七月から犀川花熊にある三ツ塚古墳群の発掘調査を実施してきました。今回は、この調査の成果について報告します。

三ツ塚古墳群は、馬ヶ岳の南東側の丘陵尾根上に位置する古墳群です。直径二〇m規模の円墳三基と同規模の方墳一基からなる古墳群ですが、昔から三基の円墳が目立っていたことから、「三ツ塚」という地名（小字）が付けられたのでしょう。四基



▲三ツ塚古墳群（方墳）発掘調査状況

の古墳のうち、二基の円墳は、平成八年度に発掘調査が行われ、いずれも横穴式の石室をもつ古墳であることが確認され、装飾が施された須恵器等が出土しています。

巨大な石棺

今回の発掘調査対象となった古墳は、丘陵の端に位置する方墳で、発掘の結果、遺体を納める部分が石棺の、古墳時代前期（四世紀頃）に造られた古墳であることが判明しました。

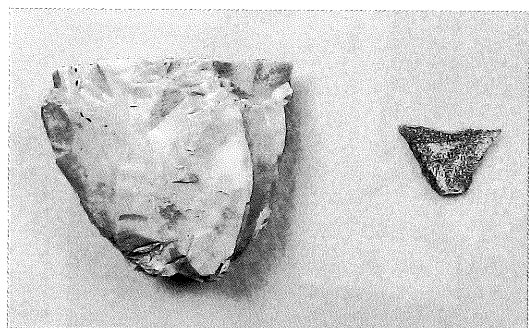
石棺は、方墳の墳丘中央付近で確認され、花熊周辺で採取された花崗岩を板状に加工し、これを箱形に組んでいました。また、棺材の隙間には、粘土を用いた丁寧な目張りが施されていました。石棺内部と蓋石内面には、ベンガラと呼ばれる赤い顔

料が塗られていました。石棺の蓋石が見つかった際、その一部が若干横にずらされており、石棺の底に敷かれた板状の敷石が、その周辺に折り重なる形で見つかったため、盗掘を受けていることが確認されました。このため、副葬品はその全てが持ち出されたと考えられ、墓の主のものと思われる骨の一部以外の出土品は確認できませんでした。盗掘は受けていたものの、石棺や墳丘の大きさは、みやこ町やその周辺ではみられないものであることなどから、地域の首長級の古墳であると思われる。

石材にみる原始の物流

今回の調査では、古墳以外でもいくつもの大きな発見がありました。その一つが古墳の盛土の中から「細石刃核」とよばれる石器が出土したこと。これは細石刃とよばれるカミソリ状の石の刃を効率よく作り出すための石器で、旧石器時代の終わり頃（約一万五〇〇〇年前）のものと考えられています。古墳の発掘では、その盛土を築く際に混入した前代の遺物が出土することがありますが、なかでも旧石器の場合は、用途不明の破片が多いため、今回のように、用途や種類が特定できるような石器の出土は大変稀なことです。また出土した細石刃核に用いられた石材は、同じ犀川上高屋の蔵持山で採取される珪化木（樹木が化石化したもの）とみられ、その形状から、宮崎県周辺に出土例が集中するものであることが分かりました。

旧石器時代の遺物から年代を捉えることは難しいものですが、この細石刃核以外にも、台形石器とよばれる石器が出土しており、この石器も、その形やこれまでの調査例から約一万七〇〇〇年前のものと思われる。この発見により、少なくとも一万年以上前に、花熊を中心とする一帯には、すでに人々の営みがあったことが判明しました。また墳丘から出土した石器の石材について調べると、佐賀県伊万



▲三ツ塚古墳群（方墳）墳丘出土石器（左から細石刃核、台形石器）

里市周辺や大分県姫島などから石器に最適な石材を持ち込んで石器製作を行っていたことが分かりました。

自動車もインターネットもない一万年以上に生きた人々が、どこでどのような石が採取できるかを熟知していたことに驚かされます。

歴史年表のような遺跡

この遺跡では、旧石器時代以降の遺物・遺構として、縄文時代の石鏃、弥生時代の竪穴式住居跡、食糧の貯蔵穴、子どもの甕棺墓の他、中世の墓、積石塚など、歴史の教科書を開くように様々な時代の遺物や遺構も確認されています。この場所が大昔から、住むことに適した土地であったことを物語っているように思います。

（井上信隆）